

(8) 教授過程

活動・内容	時間	役割	
		T <sub>1</sub>	割
1.学習のめあてについて確認する。	3分	○学習意欲の度合いをみる。 ○用具の安全点検をする。	1.学習内容を知ら ○倒立や台上前 めあてを知ら
2.準備運動をする。 ○かけ足…ボールを使って ○首かた腹筋の運動 ○うさぎとび 手押車	5分	○個別指導をする。	2.全体指導をする ○ボールを使っ
3.倒立をする。 A…補助の手をはなれて少し立っている。 B…倒立の方法がわかり倒立(補助)ができる。	10分	3.全体指導をする。 ○倒立の要領を知らせる。 ○補助のしかたを示す ○Bグループの指導をする。 (ひざをまげた倒立) 手をつく位置・目の位置・両足ふみ切り・補助者は腰を支える。	○Aグループの指 ・片足や両足ふ
4.台上前転をする。 ○能力別に目標にむかって練習する。 A…ひざ 足首をのばしてなめやかに前転する。 (手をかるくつく) B…腰を高く保って、なめらかに前転する。 C…ふみ切って台上前転をする。	20分	4.全体指導をする。 ○Cグループの指導をする。 ・マット上での前転をさせる。 ・マットを重ねて高くして前転させる(手のつき方・からだのまるめ方) ・2, 3歩助走して強くふみ切り高さに対する感覚をつかませる ・とび箱上で前転させる。	○Bグループの指 ・腕立て腰浮か (ひざをまげ ふみ切り・ 上半身をまる (タイミング 着地のとき腰 くようにまわ 腰を高くあげ させる。
5.模範演技をみる。	2分	5. ← よくできた児童の演技をみせる →	
6.整理運動をする。 ○フォークダンス	3分	○用具のかたづけを指示する。	○レコードの操作
7.次時の予告を聞く	2分		

(9) 協力教授の形態と集団の編成

① 基本的な考え

合併授業で最もたいせつなことは、チームワークである。3教師(4教師)がそれぞれ分担した役割をとおして指導の満足感がえられるようにしたい。

そこで、教師の特性を生かしT<sub>1</sub>は機械運動・T<sub>2</sub>は陸上運動というように、リーダーを領域(題材)によってかえる。

また授業を前半(話し合い、準備運動)

中(中心教材)後半(整理運動・次時の予告)に分けてそれぞれの教師が主となって授業を進めるようにした。

② 教授形態

ア 話し合い(導入)は大集団なので説明がよくわかるよう扇形の隊形とした。

イ T<sub>2</sub>が全体に目ごとどくような位置に立つ。(中集団・準備運動)

